

# 日本アジア投資株式会社 2012年3月期第3四半期 決算補足資料

決算発表日：2月6日

(ご注意)本資料に記載された意見や予測などは、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご了承下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。なお、本資料内の数値は全て連結ベース(ファンド連結基準・従来連結基準、ともにそれぞれ記載)にて表示しております。

## 1.経営環境

## 外部環境－主要インデックス推移



### ●株式市場動向

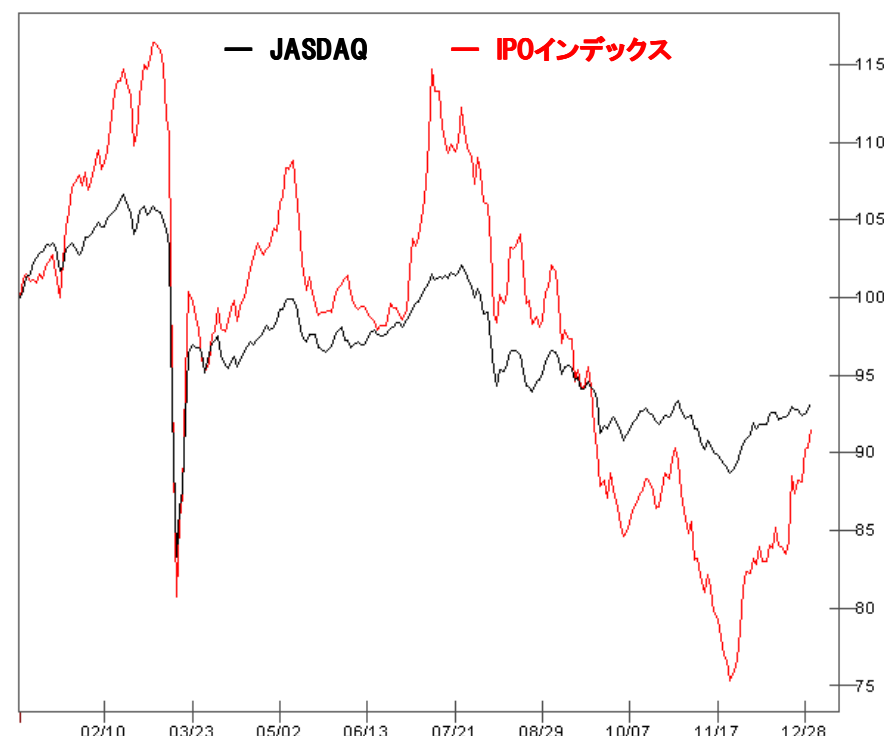
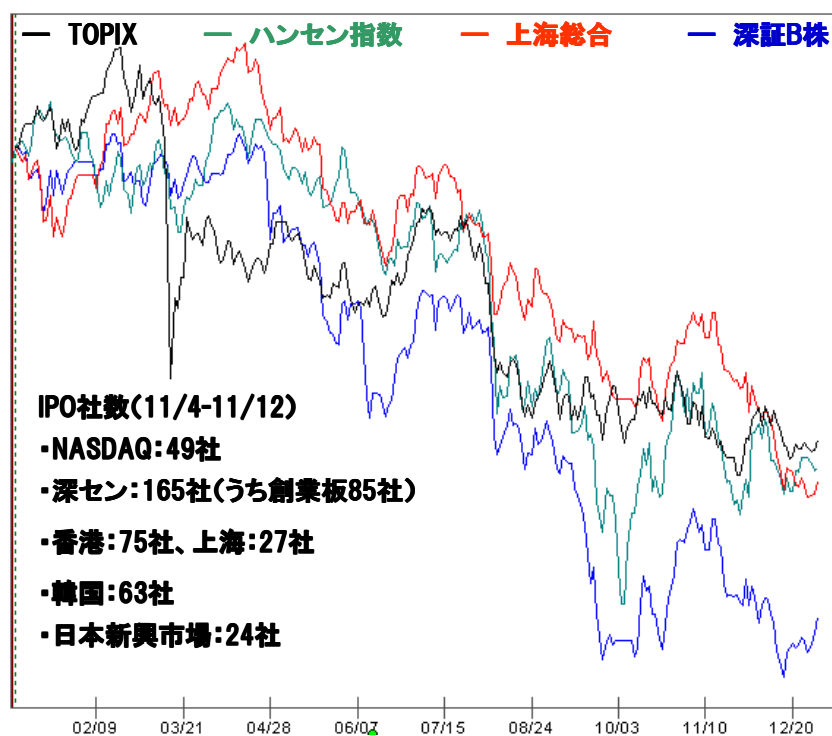
2011年4月以降の米国・アジアの主要市場は、欧州の金融危機や米国の景気後退懸念、タイの洪水災害や中国の成長率鈍化懸念などの影響を受け下落基調。

### ●IPO市場動向

IPO社数は、軟調な市場動向を受け伸び悩む。

日本では、前年同期に比し増加したものの、各国に比し低水準で推移し、IPO企業の株価水準も低迷している。

\*2011/1/1を基準値100とする



IPOインデックス:国内の全取引所に上場後1年以内の銘柄の平均パフォーマンス

## 2. 2012年3月期第3四半期決算報告

	金額 (百万円)
<b>業績(従来連結基準)</b>	
営業収益	4,190
経常利益	△1,133
当期利益	△1,331
純資産	2,867
総資産	32,344
<b>投資・ファンドの状況</b>	
投資実行額	3,114
投資残高	37,618
ファンド設立・資産増加額	11,267
ファンド運用残高	89,988
<b>財務状況(従来連結基準)</b>	
借入金	28,275

- 業績
  - ・適切な売却タイミングを見極めながら慎重に営業投資資産の流動化を実施
  - ・第3四半期に入り売却高、売却益が増加
  - ・前年同期との比較では、株価低迷、歴史的な円高が収益、利益、純資産に影響
- 投資の状況
  - ・投資実行額が、前年同期比46%増加
  - ・アジアを中心にグローバル展開を目指す成長企業への投資に注力
- ファンドの状況
  - ・6ファンド、112億円の設立・資産増加
  - ・(株)日本政策投資銀行と、東南アジア向けグロースエクイティファンドを設立の他、中国で今期3本目となるファンドを設立
- 財務状況
  - ・期中に借入金26億円を返済し、残高を280億円台まで圧縮。
  - ・新株予約権付社債残高14億円を満期償還

- ・適切な売却タイミングを見極めながら営業投資資産の流動化を実施  
第2四半期累計期間に比較し、第3四半期3ヶ月間で売却高、実現キャピタルゲインが増加
- ・一方、前年同期との比較では、株価下落や円高の影響により、営業投資有価証券売却高、実現キャピタルゲイン、ファンドからの成功報酬は減少
- ・新規IPO社数は大きく増加したものの、株価の急激な下落により上場株式の評価損が344百万円発生(従来連結基準)、経済環境の低迷により財務内容の悪化した未上場投資先企業に対する引当も増加
- ・継続したコスト削減策の実施により、販管費を前年同期比7%削減(従来連結基準)

(単位:百万円)	11/3 従来連結 基準	11/3(3Q) 従来連結 基準	12/3(3Q) 従来連結 基準	増減率 (%)	11/3(3Q) ファンド連結 基準	12/3(3Q) ファンド連結 基準	増減率 (%)
営業収益	10,979	7,219	4,190	△42%	8,006	5,600	△30%
営業原価	7,286	4,500	3,214	△29%	5,467	5,209	△5%
営業総利益	3,692	2,718	976	△64%	2,538	391	△85%
販売費及び一般管理費	2,399	1,798	1,677	△7%	1,663	1,504	△10%
営業利益	1,293	920	△700	-	875	△1,113	-
経常利益	175	62	△1,133	-	7	△1,573	-
当期純利益	△2,044	△710	△1,331	-	△641	△1,706	-

- ・ファンドへの出資による支出が増加したことや、営業投資資産の売却による収入が減少したことなどから、営業CFは278百万円のキャッシュアウト
- ・投資有価証券の償還等により、投資活動によるCFは122百万円のキャッシュイン
- ・借入金返済に伴う支出や新株予約権付社債の満期償還等により、財務活動によるCFは4,055百万円のキャッシュアウトとなり、期末の現金同等物は11/3期末から4,259百万円減少

キャッシュ・フロー計算書
--------------

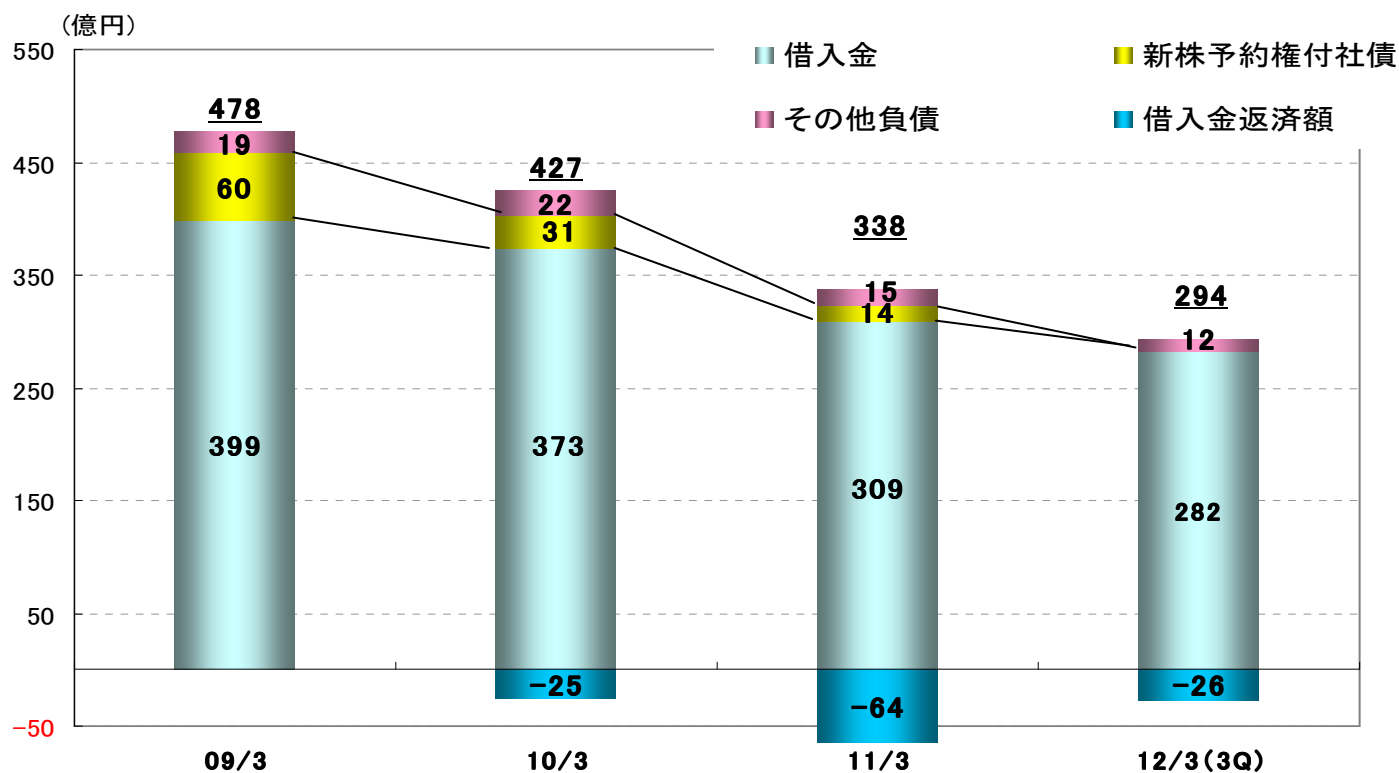
(ファンド連結基準)

(単位:百万円)	11/3期	11/3(3Q)	12/3(3Q)	増減率(%)
営業活動によるCF	7,137	4,458	△ 278	-
投資活動によるCF	2,215	1,823	122	△93%
財務活動によるCF	△ 7,886	△ 7,885	△ 4,055	-
CF増減額	1,431	△ 1,636	△ 4,259	-
期末残高	9,762	6,693	5,502	△18%

## BS一負債の状況



- ・借入金：返済計画に基づき着実に残高を圧縮  
 期中に26億円の返済を実施し、2009/3期に約400億円だった借入金残高は280億円台まで減少
- ・新株予約権付社債：残高14億円を2011年9月に満期償還



← 従来連結基準 →

# PLーファンド運営報酬とファンド運用残高



## ●ファンド運営報酬

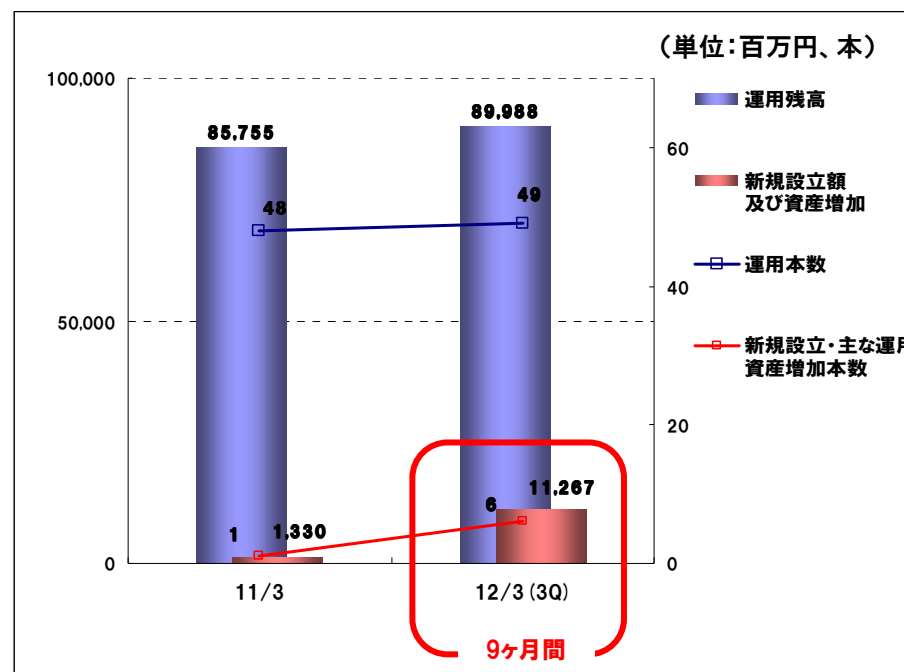
売却の進捗等によりファンドの純資産が減少したことなどから、前年同期比で減少

(従来連結基準)

単位: 百万円	11/3	11/3 (3Q)	12/3 (3Q)
投資事業組合等 運営報酬 合計額	1,383	1,065	768
うち 管理運営報酬等	1,088	841	703
うち 成功報酬	295	223	64

## ●ファンド運用残高と 新規設立額/資産増加額の推移

新規設立・資産増加額が前年通期実績を大きく上回り、ファンド運用残高は前期末に比較して42億円増加



- ・ファンド運用金額はコミットメントベースの金額であり、各連結会計期間末または連結会計年度末の為替レートで円換算しております。
- ・11/3期より事業再構築の過程において取り扱いを変更したファンドが除外されており、その影響額は11/3期末において9本11,562百万円となります。
- ・当社グループが運営のために必要な情報の提供を行っているファンド分が11/3期末のうち1本1,134百万円、12/3(3Q)のうち1本1,134百万円含まれております。
- ・満期を迎えた後に清算期間に入っているファンドは上記の数値に含めておりません。

●**実現キャピタルゲイン:**

- ・適切な売却のタイミングを見極めながら営業投資資産の流動化を実施し、第2四半期累計期間に比し収益性が改善  
第3四半期3ヶ月間では、売却高1,498百万円、実現キャピタルゲイン558百万円(従来連結基準)
- ・一方、前年同期との比較では、株式市場の低迷により上場株式のキャピタルゲインが減少したほか、海外投資において歴史的な円高が売却高、実現キャピタルゲインに影響

●**投資損益:**

上場株式の株価下落による評価損が344百万円発生(従来連結基準)した他、外部環境の影響により業況が悪化した未上場投資先の引当繰入が発生

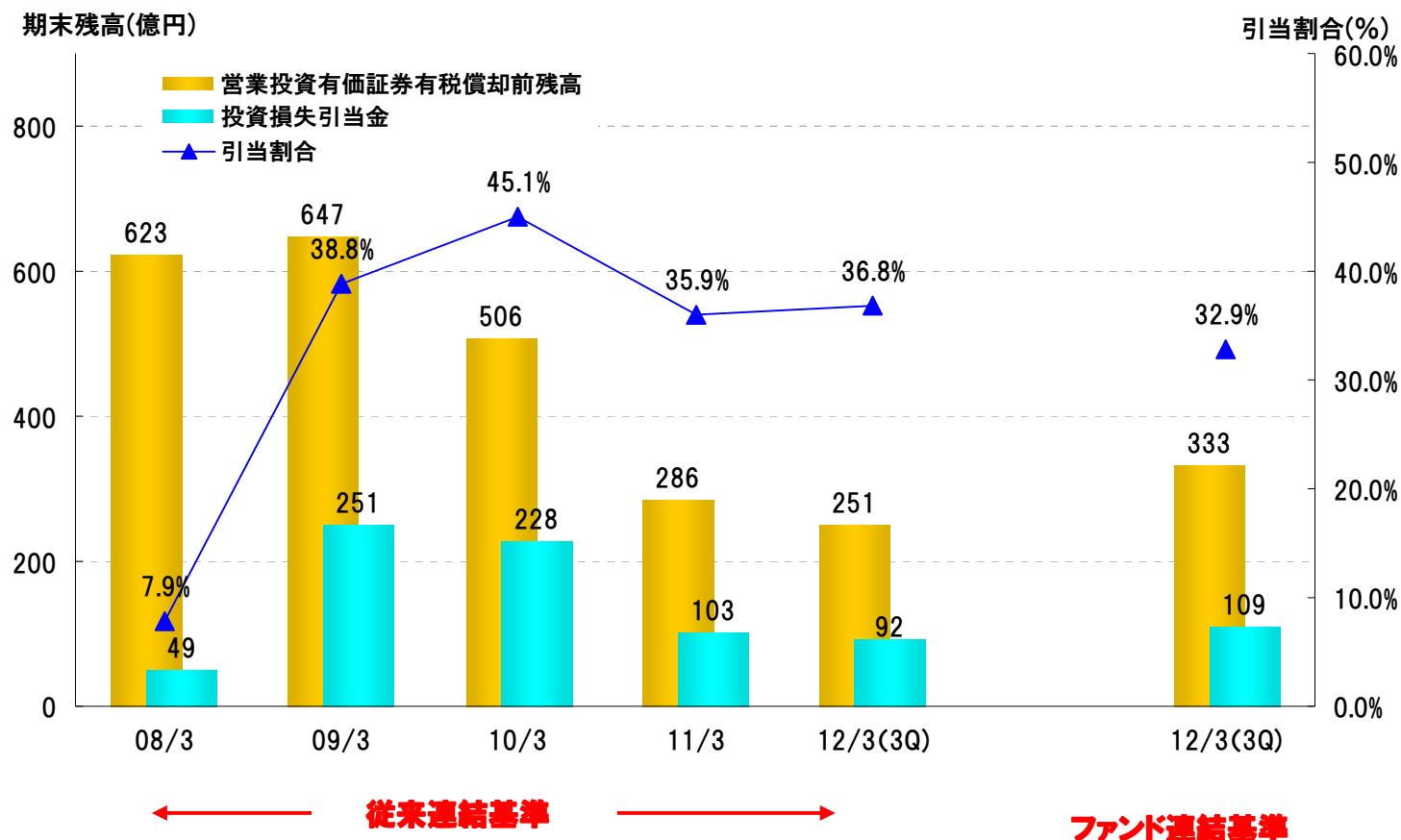
(従来連結基準)

	11/3	11/3(3Q)	12/3(3Q)
営業投資有価証券売却高(A)	8,584	5,286	3,157
営業投資有価証券売却原価	7,308	4,498	2,811
営業投資有価証券売却原価(B)	6,680	3,803	2,454
営業投資有価証券評価損(C)	627	694	357
投資損失引当金繰入額(D)	△296	△157	335
実現キャピタルゲイン(A)-(B)	1,904	1,482	703
投資損益(A)-(B)-(C)-(D)	1,573	945	11

# BS—引当率



償却・引当割合は36.8%(従来連結基準) と前期末から0.9%上昇

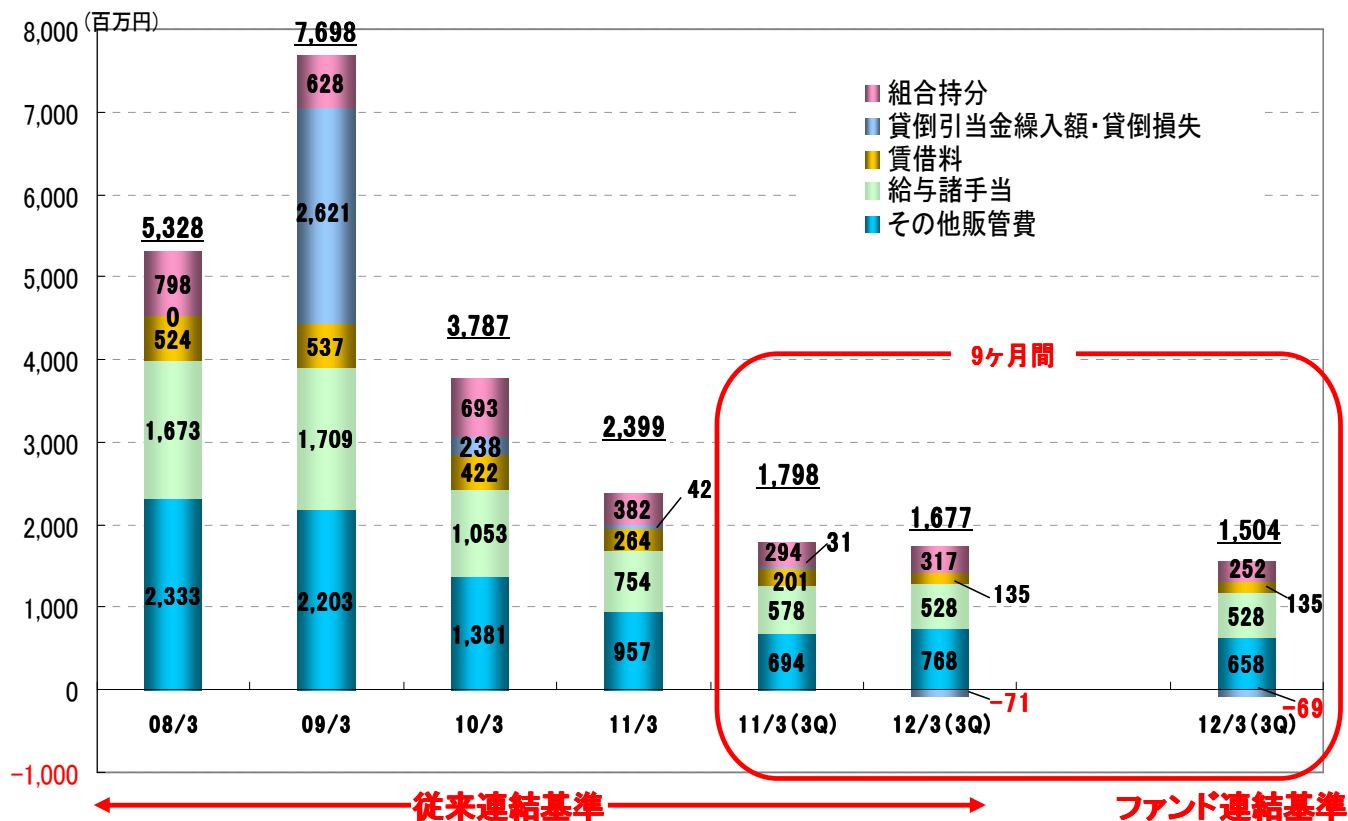


- ・上記の営業投資有価証券及び投資損失引当金の金額は、下記の調整を行っているため、連結貸借対照表の計上額と異なっております。
  - ・2008/3期より、投資損失引当金を設定している営業投資有価証券の一部について、投資資金の回収が困難と判断されたため、有税償却処理をした金額を含めて引当割合を算定しております。
  - ・引当割合は、営業投資出資金の振替額及び含み益を控除し、有税償却残高を加えた営業投資有価証券の残高に対する割合としております。
  - ・2005/3期より、営業投資有価証券残高に営業投資出資金を含めるよう会計処理を変更しております。
- 影響額:2008/3期 43億円、2009/3期 36億円、2010/3期27億円、2011/3期16億円、2012/3(3Q)11億円、2012/3(3Q)ファンド連結後12億円。

# PL—販売費及び一般管理費



・継続的なコスト削減策が奏功し、前年同期比△7%(従来連結基準)の削減を達成



※販管費比率は従来連結基準による

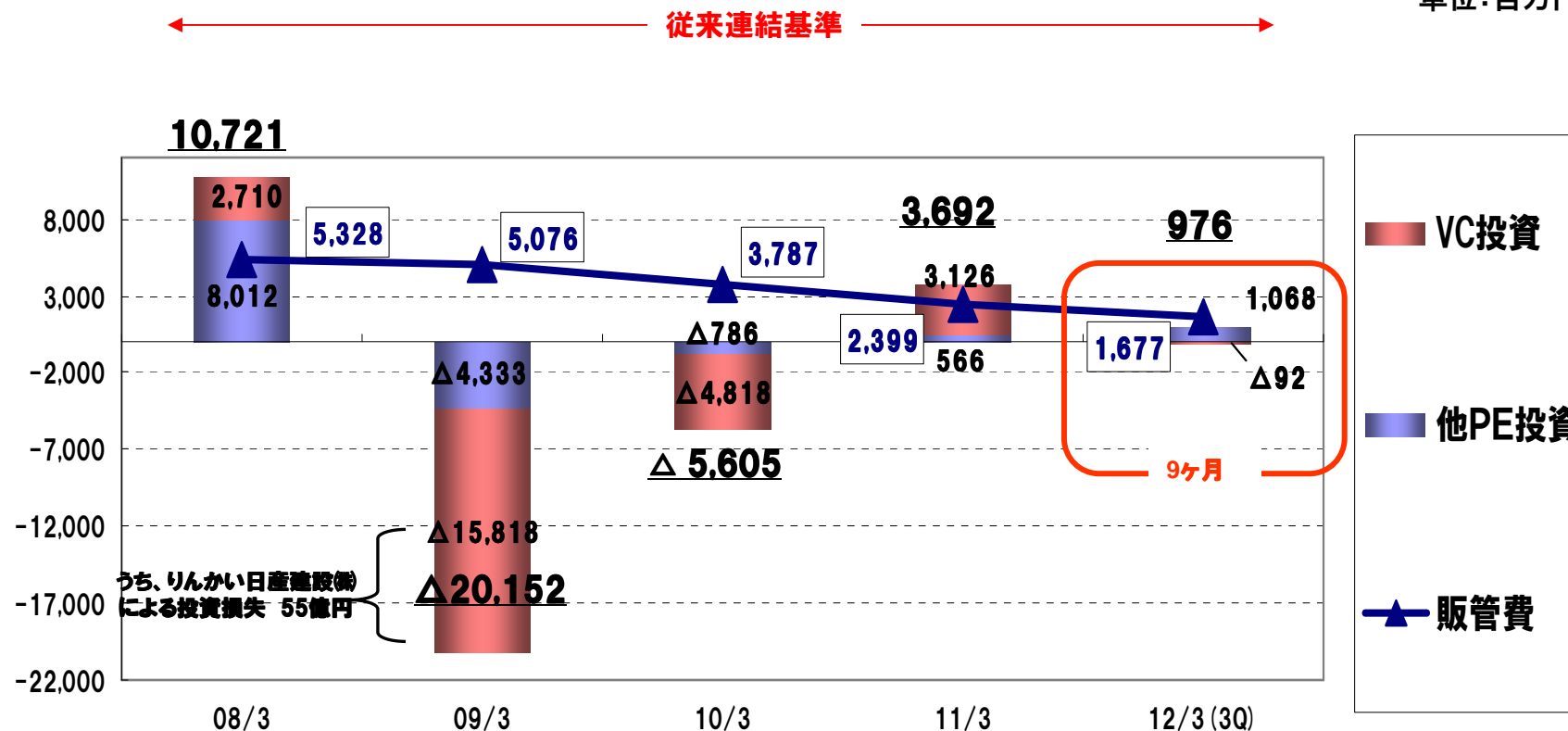
	08/3	09/3	10/3	11/3	12/3(3Q)
営業総利益に対する 販管費比率	49%	-	-	65%	172%
従業員数	連結	265	236	153	133
	単体	159	135	95	80
					72

・ファンド連結後の「組合持分」には、投資事業組合持分経費の他、会社型ファンドの経費も含まれております。

# PL—投資プログラム別営業総利益



単位：百万円



- 2009年3月期の販管費は貸倒引当金及び貸倒損失を除いた数値。
- 他PE投資=バイアウト投資、事業再生投資、PEセカンダリー投資等のベンチャーキャピタル投資以外のPE投資事業。
- 同一ファンドからの収益が複数の投資プログラムにまたがる場合には、主となる投資プログラムに分類しております。

### 3. 参考情報

## 新規設立・主な運用資産増加ファンドの概要



➤2012/3期第3四半期の新規設立・増加:6本、11,267百万円

### 蘇州日亜呉中国発創業投資企業(有限合伙)

- 2011年12月設立。ファンド総額200百万人民元。
- 中国江蘇省蘇州市呉中区の市政府傘下VC、及び政府系有力VC傘下企業との協業
- 先端技術産業の発展が著しい「長江デルタ地域」の成長期の企業向けファンド

### Japan South East Asia Growth Fund L.P.

- 2011年11月設立。ファンド総額30億円(設立時点)。
- 株式会社日本政策投資銀行との協業
- 消費経済拡大や技術力向上が見込まれるASEAN地域向けグロースエクイティファンド

### CA-JAIC China Internet Fund II, L.P.

### 日亜(天津)創業投資企業 \*2011年8月

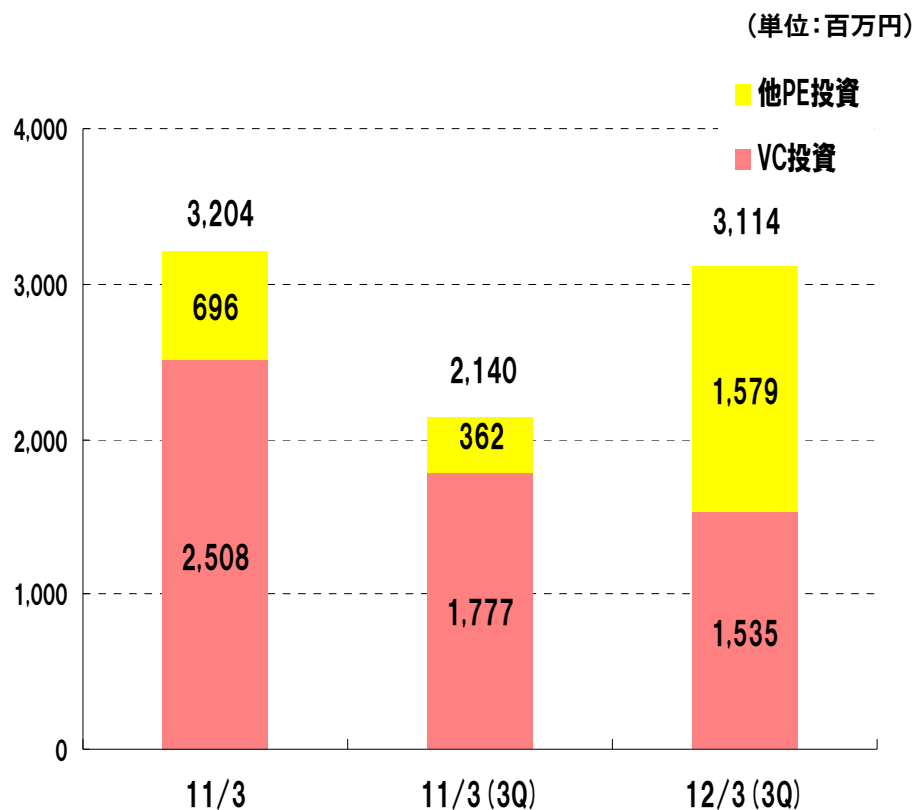
### 北京中電新能投資中心(有限合伙)(CITIC国電ファンド)\*2011年6月

### DFJ-JAIC Technology Partners, LP \*2011年4月

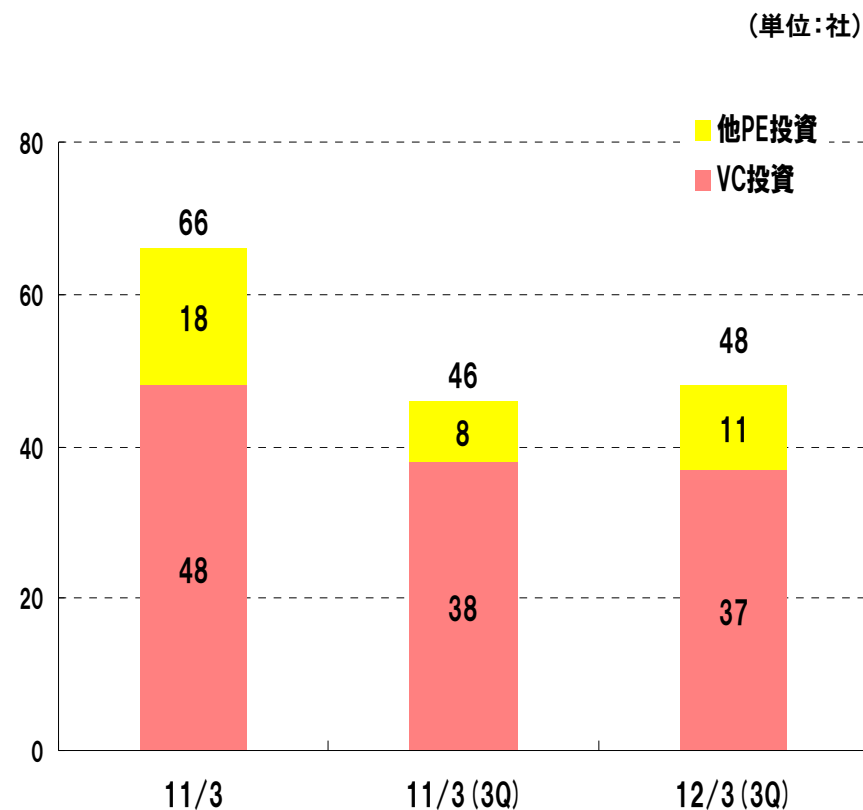
# 投資実行状況 – 投資種類別



## ◆金額ベース



## ◆社数ベース



(自己勘定+ファンド)

- ・他社ファンドへの出資持分額は含んでおりません。
- ・他PE投資＝バイアウト投資、事業再生投資、PEセカンダリー投資等のベンチャーキャピタル投資以外のPE投資。

## 投資実行状況－投資動向

- 2012/3期第3四半期の投資実行:48社3,114百万円(前年同期比46%増)
- アジアを中心にグローバル展開を目指す成長企業に投資を実行
- 新設ファンドからの投資実行を実現

### 投資事例: CNSAS社

- －事業内容: EPC事業  
(Energy Performance Contracting)
- － 2011年11月に投資実行  
CITIC国電ファンドからの第1号投資案件
- － 中国国営の火力発電所等向けにサービスを提供。専門性に優れた自社開発システムを持つEPC事業者であり、設立4年目ながら中国で業界トップの実績を有す。
- － 中国の環境・エネルギー市場の成長性、高い競争力を評価し投資を実行。

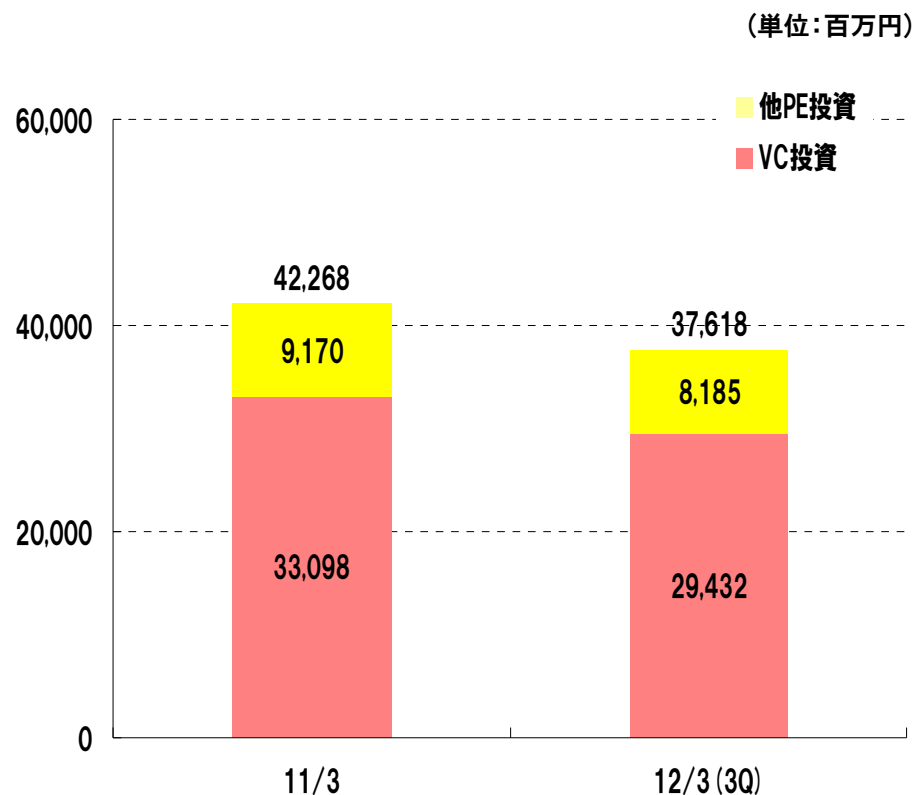
### 投資事例: Bon Fame社

- －事業内容: ファッショングッズの  
企画・製造・販売
- － 2011年9月に投資実行、  
同年12月に追加投資を実行
- － OEMで事業基盤を確立。さらなる成長に向けて日本のファッション雑貨を扱う「綺麗生活館」を中国で展開。  
店舗網の拡大により事業の伸長を図る。
- － 同社の中国での成長戦略に期待し、日中連携で日本の提携先紹介などを支援。

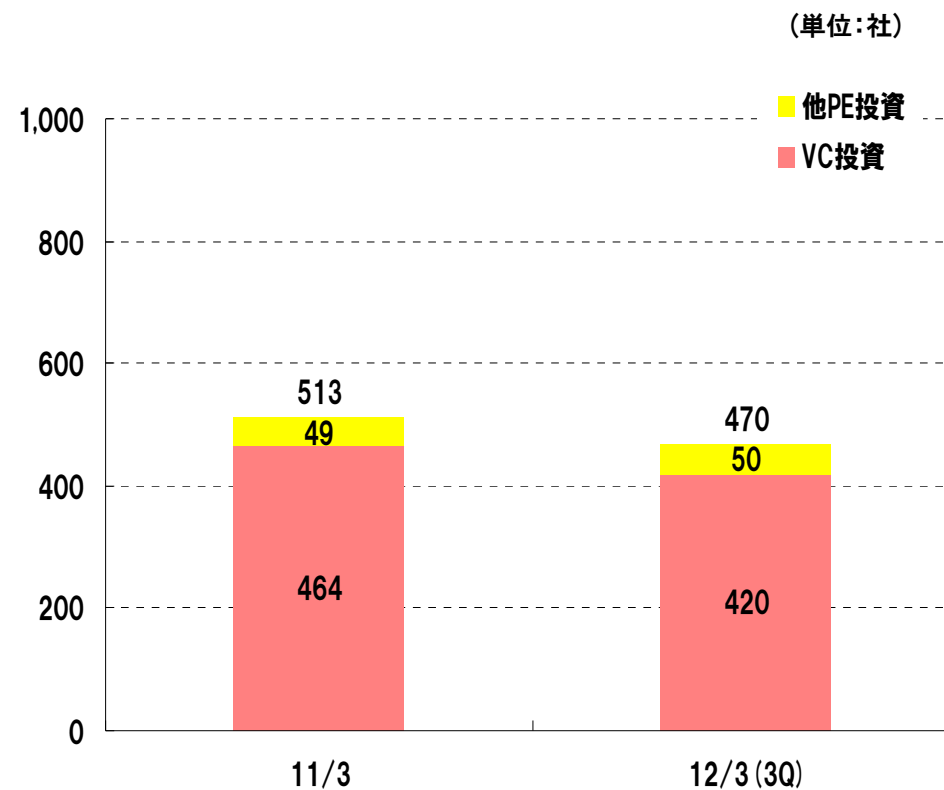
# 投資残高 – 投資種類別



## ◆金額ベース



## ◆社数ベース



(自己勘定+ファンド)

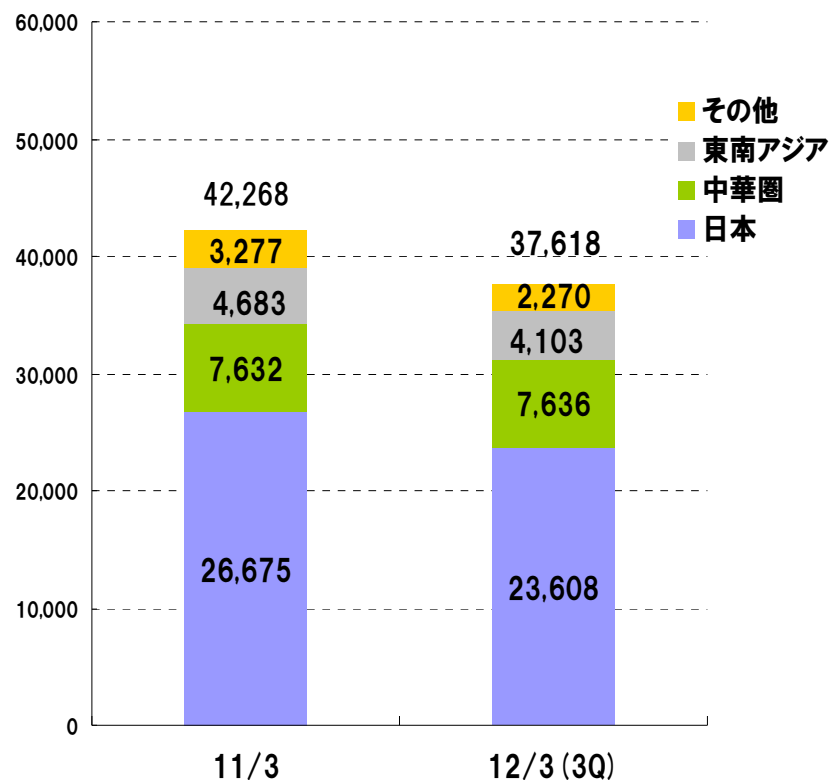
- ・他社ファンドへの出資持分額は含んでおりません。
- ・他PE投資＝バイアウト投資、事業再生投資、PEセカンダリー投資等のベンチャーキャピタル投資以外のPE投資。
- ・11/3期より事業再構築の過程において取扱いを変更したファンドが除外されており、その影響額は11/3期末において44社3,457百万円となります。

# 投資残高一内訳①



## ◆地域別

(単位:百万円)

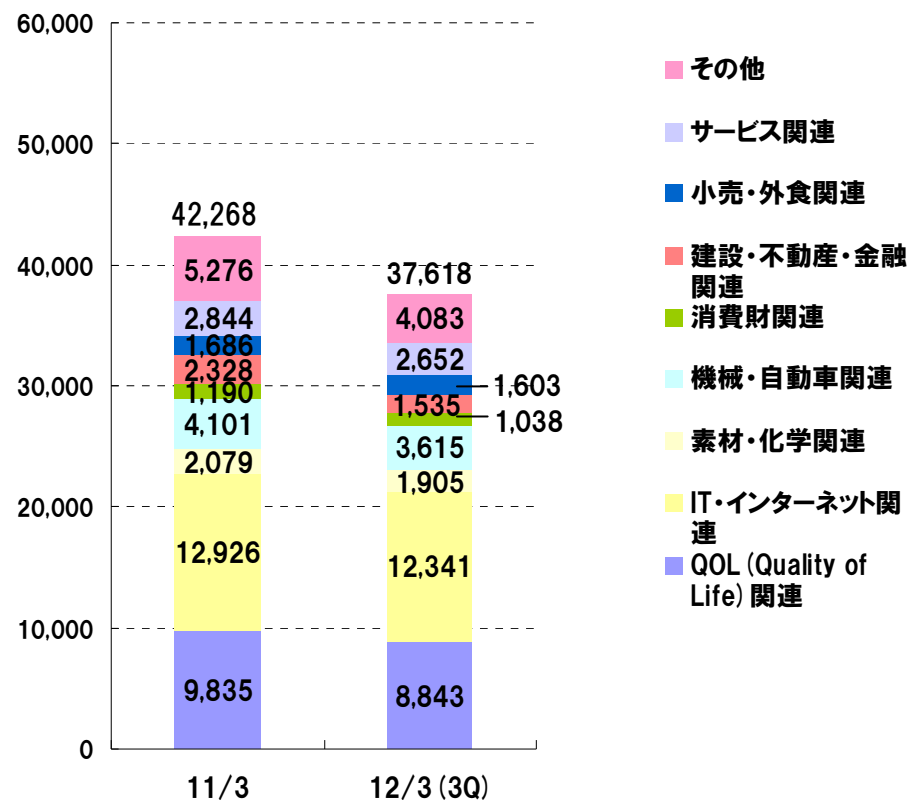


(自己勘定+ファンド)

- ・その他には、PEセカンダリー投資を含めております。
- ・11/3期より事業再構築の過程において取扱いを変更したファンドが除外されており、その影響額は11/3期末において44社3,457百万円となります。

## ◆業種別

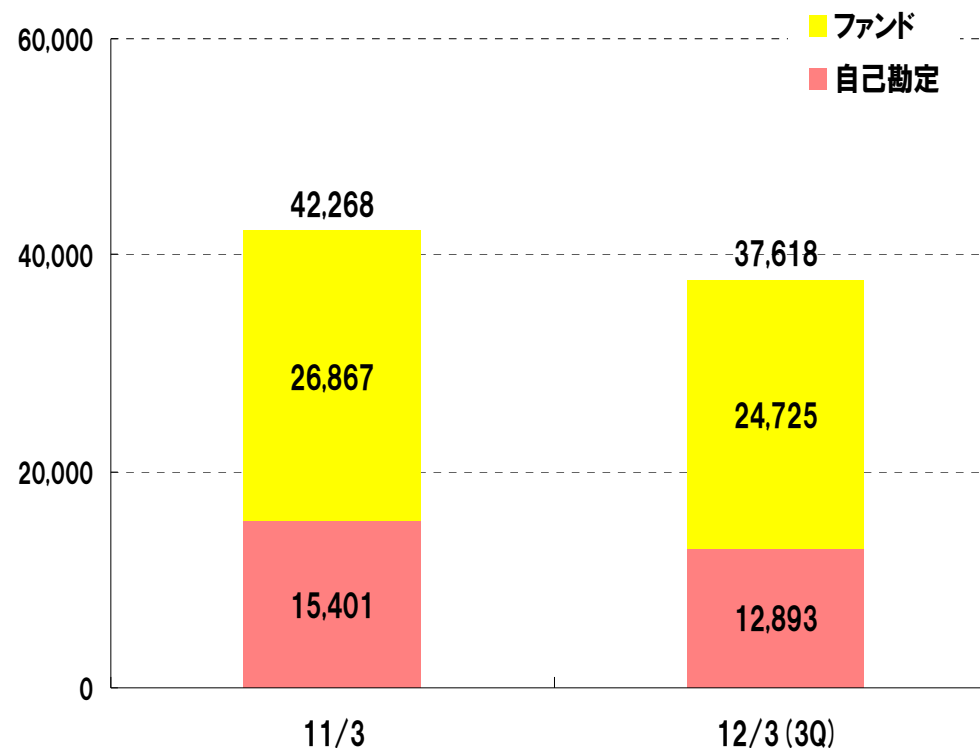
(単位:百万円)



(自己勘定+ファンド)

## ◆投資主体別

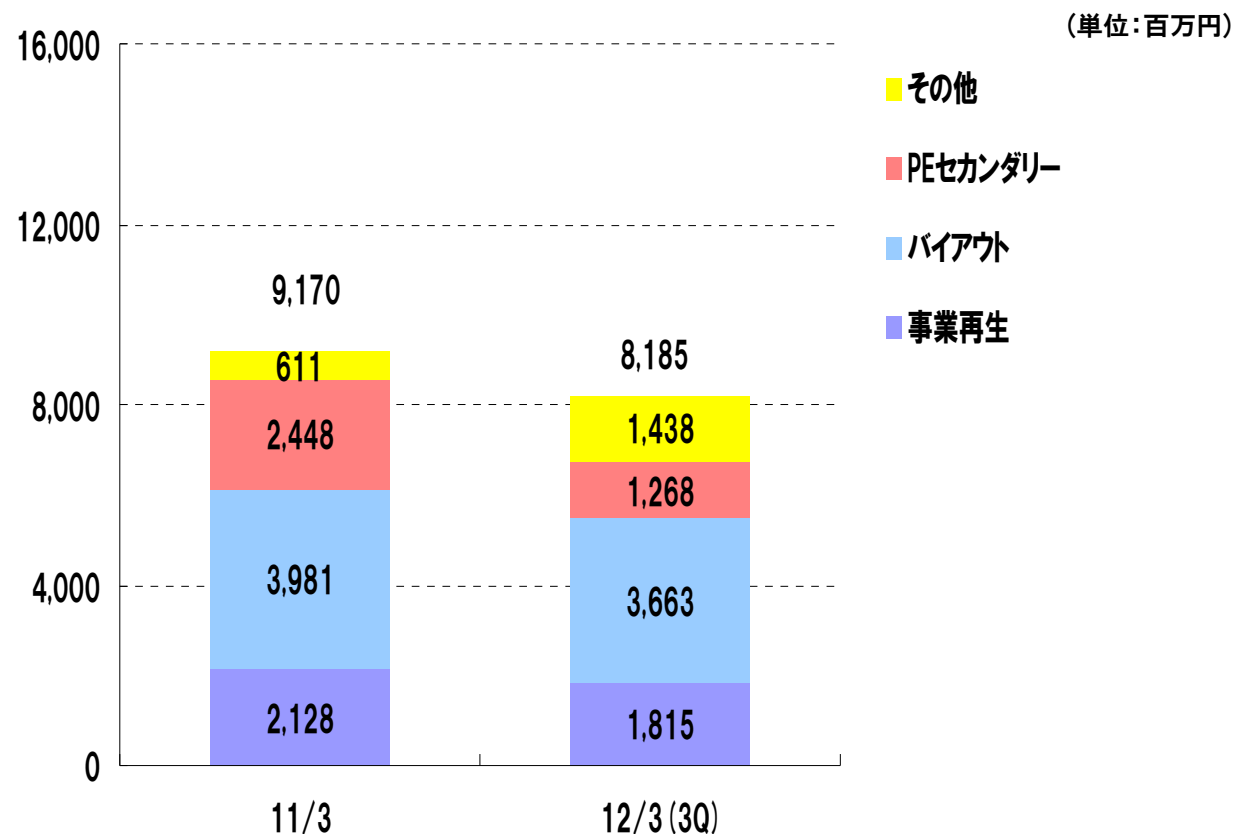
(単位:百万円)



(自己勘定+ファンド)

- ・他社ファンドへの出資持分額は含んでおりません。
- ・11/3期より事業再構築の過程において取扱いを変更したファンドが除外されており、その影響額は11/3期末において44社3,457百万円となります。

## ◆他PE投資-投資種類別



(自己勘定+ファンド)

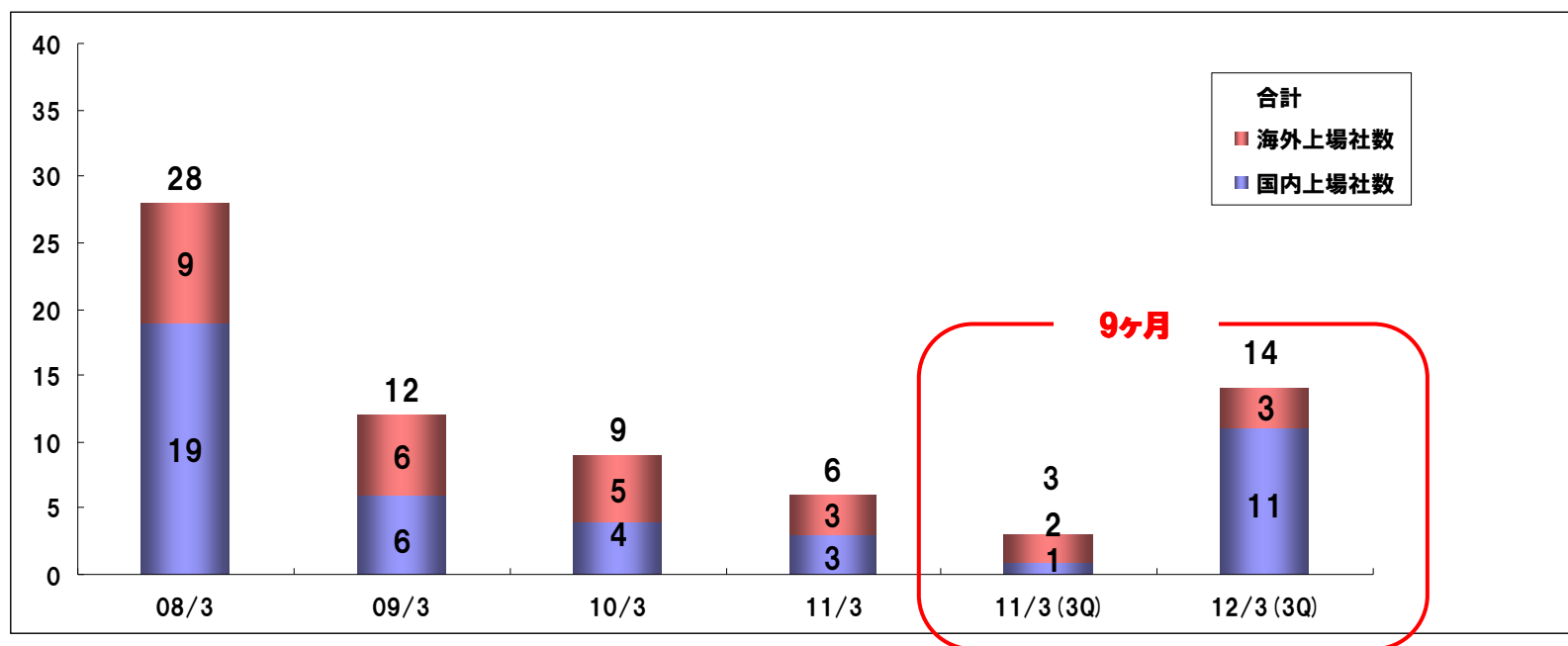
- ・他社ファンドへの出資持分額は含んでおりません。
- ・11/3期より事業再構築の過程において取扱いを変更したファンドが除外されており、その影響額は11/3期末において7社618百万円となります。

# 投資業務 一上場実績



上場社数(単位:社)

(自己勘定+ファンド)



## 初値ベース投資倍率

(単位:倍)

	08/3	09/3	10/3	11/3	11/3(3Q)	12/3(3Q)
国内	2.6	3.5	1.3	1.9	2.1	1.4
海外	6.2	0.9	1.6	0.6	0.4	1.9

・新規上場件数には、08/3は2社、09/3は3社、10/3は1社、11/3は1社の株式交換等による上場株式取得分を含めております。  
 なお、初値倍率の計算には株式交換による上場株式取得分は含めておりません。平均初値倍率=初値時価総額の合計/取得額の合計

## PL一内訳



(単位:百万円)

	08/3 従来連結 基準	09/3 従来連結 基準	10/3 従来連結 基準	11/3 従来連結 基準	11/3(3Q) 従来連結 基準	12/3(3Q) 従来連結 基準	増減率(%)	11/3(3Q) ファンド連結 基準	12/3(3Q) ファンド連結 基準	増減率(%)
<b>&lt;業務別&gt;</b>										
<b>1. 投資事業組合等管理業務</b>										
管理運営報酬等	1,501	1,559	1,294	1,088	841	703	△16%	359	309	△14%
成功報酬	1,006	268	461	295	223	64	△71%	179	64	△64%
営業収益	2,508	1,827	1,755	1,383	1,065	768	△28%	539	374	△31%
営業原価	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営業総利益	2,506	1,827	1,755	1,383	1,065	768	△28%	539	374	△31%
<b>2. 投資業務</b>										
営業投資有価証券売却高	14,547	5,203	4,700	8,584	5,286	3,157	△40%	6,539	4,907	△25%
営業受取配当金・受取利息他	1,988	814	673	776	689	191	△72%	740	236	△68%
営業収益	16,535	6,018	5,373	9,360	5,976	3,349	△44%	7,279	5,143	△29%
営業投資有価証券売却原価/投資原価	5,960	5,022	4,450	6,680	3,803	2,454	△35%	4,617	3,502	△24%
営業投資有価証券売却原価/評価損	1,665	15,069	2,829	627	694	357	△49%	741	707	△5%
投資損失引当金繰入額	467	7,615	5,151	△296	△157	335	-	△94	715	-
その他	540	509	398	191	90	39	△56%	133	254	91%
営業原価	8,632	28,217	12,829	7,203	4,430	3,186	△28%	5,398	5,181	△4%
営業総利益	7,902	△22,199	△7,456	2,157	1,545	163	△89%	1,881	△37	-
<b>3. その他</b>										
営業収益	1,008	649	285	234	178	72	△59%	187	82	△56%
営業原価	537	266	183	83	69	27	△60%	69	27	△60%
営業総利益	470	382	101	151	108	44	△59%	117	54	△54%
<b>合計</b>										
連結営業収益	20,051	8,494	7,414	10,979	7,219	4,190	△42%	8,006	5,600	△30%
連結営業原価	9,172	28,483	13,013	7,286	4,500	3,214	△29%	5,467	5,209	△5%
連結営業総利益	10,879	△19,988	△5,599	3,692	2,718	976	△64%	2,538	391	△85%
販売費及び一般管理費	5,328	7,698	3,787	2,399	1,798	1,677	△7%	1,663	1,504	△10%
営業利益	5,550	△27,686	△9,386	1,293	920	△700	-	875	△1,113	-
経常利益	4,796	△28,950	△10,334	175	62	△1,133	-	7	△1,573	-
当期純利益	3,049	△34,845	△10,903	△2,044	△710	△1,331	-	△641	△1,706	-

# JAIC

## 日本アジア投資株式会社

〒101-8570 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地 精興竹橋共同ビル

代表 Tel(03)3259-8518 Fax(03)3259-8511

<http://www.jaic-vc.co.jp>

IRに関するお問合せ先:

常務取締役 下村哲朗

経営管理部 山本

経営管理部 丸山、矢口

IRに関するお問合せアドレス:[ir@jaic-vc.co.jp](mailto:ir@jaic-vc.co.jp)

(ご注意)本資料に記載された意見や予測などは、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご了承下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。なお、本資料内の数値は全て連結ベース(ファンド連結基準・従来連結基準、ともにそれぞれ記載)にて表示しております。